

科目番号	0203	科目名	歴史総合			
単位数	区分	レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト	
2	必履修・選択	6	2	1	年間 2 回	
教科書		『私たちの歴史 日本から世界へ』改訂版（山川出版社）				
副教材		なし				
デジタル教材等		スタディサプリ				
学習目標		近現代の歴史の変化に関わる諸事象についてグローバルな視野から理解するとともに、史料に基づいて調査しまとめる技能等を身につけ、国際社会における日本国民としての自覚と他国の文化を尊重する態度を養う。				

学習方法

（１）単位を修得するために

毎回のレポートは、教科書や辞典など、様々なものを用いて調べて良いので、空欄の無いように仕上げて提出しましょう。スクーリングの要出席回数は２回ですが、分からない問題などがある際には遠慮なく質問をしてください。また、スタディサプリの「ベーシックレベル 歴史総合」の講座は、授業形式になっているのでとても参考になると思います。活用してください。

テストが２回あります。基本的には教科書やレポートの内容から出題しますが、空欄の穴埋めだけでなく論述や正誤選択の問題もありますので、しっかり教科書の内容を理解しておきましょう。

（２）大学受験に向けて

共通テストでは、「日本史探究」「世界史探究」を受験する場合、「歴史総合」の範囲から出題されます。「日本史探究」の場合は「歴史総合」の世界史分野からも、「世界史探究」の場合は「歴史総合」の日本史分野からも出題されます。必履修科目であると同時に、受験科目にもなるわけです。受験用の「歴史総合」の問題集なども揃ってきました。大学受験の突破のためには、演習量が大事です。共通テストを受験する予定の人は早めの対策を心掛けましょう。

また私立大学でも、少しずつ「歴史総合」の分野からも出題するところが増加する傾向にあります。受験科目を確認して「歴史総合」があるかどうかを確認しておきましょう。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリ)
第 1 回	pp. 26 - 45 1. 結びつく世界 2. 18 世紀の世界とアジア 3. 産業革命 4. アヘン戦争と日本 5. 日本の開国 6. 日本開国期の国際情勢 7. 開国後の日本社会 8. 市民革命と国民統合	第 1 部 近代化と私たち (1)	4 月 23 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 0 講 ～ 第 4 講
第 2 回	pp. 46 - 61 9. 明治維新 10. 富国強兵と文明開化 11. 日本の明治初期の外交 12. 大日本帝国憲法の制定 13. 日本の産業革命と日清戦争 14. 帝国主義 15. 日露戦争と韓国併合	第 1 部 近代化と私たち (2)	5 月 21 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 5 講 ～ 第 6 講
第 3 回	pp. 74 - 87 1. 大衆運動の芽ばえ 2. 第一次世界大戦 3. 第一次世界大戦と日本 4. ロシア革命とその影響 5. 社会運動の広がり 6. 国際協調 7. アジアの民族運動 8. 大衆社会の到来	第 2 部 国際秩序の変化や 大衆化と私たち (1)	7 月 2 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 7 講 ～ 第 10 講
前期考查：第 1 回～第 3 回の範囲				
第 4 回	pp. 94 - 113 9. 世界恐慌 10. 独裁勢力の台頭 11. 日本のアジア優出 12. 第二次世界大戦 13. 第二次世界大戦と日本 14. 第二次世界大戦の終結 15. 戦後国際秩序 16. 冷戦の始まり 17. 日本の戦後改革と日本国憲法 18. 日本の独立	第 2 部 国際秩序の変化や 大衆化と私たち (2)	10 月 8 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 11 講 ～ 第 13 講
第 5 回	pp. 128 - 139 1. 第三世界の登場 2. 冷戦の固定化と「雪どけ」	第 3 部 グローバル化と 私たち (1)	11 月 5 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 14 講

	3. 冷戦の展開 4. 55 年体制と安保闘争 5. 高度成長の光と影 6. ベトナム戦争とアメリカ			
第 6 回	pp. 140 - 161 7. 経済構造の変化 8. 日本の経済大国化 9. アジアの経済成長 10. 社会主義の停滞と新自由主義 11. 冷戦の終結 12. 冷戦後の地域紛争 13. 地域統合 14. 現代世界の諸課題 15. 日本の諸課題	第 3 部 グローバル化と 私たち (2)	12 月 17 日 (木)	ベーシックレベル歴史総合 第 15 講
単位認定考查：第 4 回～第 6 回の範囲				

レポートの配信と提出の仕方

- (1) MetaMoji の科目別のフォルダにレポートが配信される。
- (2) タッチペンでレポート内の解答欄に直接書き込む。
- (3) すべての問題に取り組み、解答する。最後の振り返りも評価の対象となるので、回答する。
- (4) 記入漏れがなければ、表紙の提出日に日付を入れる。
- (5) 提出期限は、提出日の 16 時 30 分とする。その時点で書き込みは禁止となる。
- (6) 担当者より採点が終了したら、Teams で連絡されるので、その内容をよく見て復習する。採点は、MetaMoji に直接記載される。
- (7) 再提出の場合、レポートに次の提出期限が記載される。また Teams により、別途担当者より連絡が来る。

科目番号	0201	科目名	地理総合			
単位数		区分	レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2		必修	6	2	1	年間2回
教科書		高等学校新地理総合，新詳高等地図（帝国書院）				
副教材						
デジタル教材等		高等学校新地理総合ノート（デジタル準拠ノート） NHK テレビ高校講座 地理総合				
学習目標		1. 地図の役割や有用性を理解するとともに，位置や分布などに着目して，地図やGISの活用方法を身に付ける。 2. 世界の様々な場所や人間と自然の関わりなどに着目して，世界各地の生活文化の特徴を理解し，その多様性の背景や変化の理由について考える。 3. 世界各地の自然災害を理解して防災意識を高めるとともに，人間と自然のかかわりや地域の特徴に着目して，災害に強い地域づくりについて考える。				

学習方法

（１）単位を修得するために

- 教科書を通読しましょう。基本的な事項をおさえるとともに，教科書内の「節の主題」や「学習課題」を意識しながら理解を深めていきましょう。
- デジタル準拠ノートのレポートに取り組みましょう。分からないところは教科書を確認しながら進めていきます。基本的事項（教科書で太字で出てくる語など）は，しっかり身に付けていきましょう。
- スクーリングに出席しましょう。教科書で確認しても分からないところがあれば先生に質問し，確実に身に付けていきましょう。また，スクーリングの必要出席時数は年間で2回ですが，NHK 高校講座地理総合の動画を視聴すれば，スクーリングを1回免除できます。動画を視聴してスクーリングを免除したいときは，視聴票を提出してください。
- 定期テストに向けて，レポートを再確認し，実践問題に取り組みましょう。実践問題を繰り返し解いて出題形式に慣れるとともに，基本的事項を確実に身に付けます。

（２）大学受験に向けて

国公立大学を目指すのであれば，共通テストの「地理総合，地理探究」を選択する生徒が多いと思います。まずは2単位科目の「地理総合」において，地理的なものの見方・考え方を身に付けます。つまり，地図や統計資料，写真をみて，視覚的・多角的に考察する力を養いましょう。特に地理総合の学習内容の「地図と地図情報」と「自然災害と防災」は，「地理探究」ではあまり扱いません。これらの学習内容は確実に身に付け，次年度以降に「地理探究」を履修してください。

レポートの内容

レポート (締切日)	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (NHK 高校講座地理総合)
第 1 回 (5/18)	教科書 p 6 ～p33	地図と地理情報 国家と領域	4 月 22 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 1 ～ 3
第 2 回 (6/22)	教科書 p76～p79 教科書 p80～p83 教科書 p88～p91	東南アジア オセアニア 中央アジア・西アジ ア・北アフリカ	6 月 3 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 4～7
第 3 回 (9/1)	教科書 p92～p95 教科書 p98～p101 教科書 p102～p105 教科書 p106～p109	インド ラテンアメリカ サハラ以南アフリカ ロシア	7 月 1 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 8・9
前期テスト				
第 4 回 (10/13)	教科書 p116～p121 教科書 p122～p127 教科書 p128～p133	アメリカ合衆国 東アジア ヨーロッパ	10 月 14 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 10・11
第 5 回 (11/9)	教科書 p135～p144 教科書 p148～p154 教科書 p166～p169	地球環境問題 資源・エネルギー問 題 食料問題	11 月 25 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 12～16
第 6 回 (1/18)	教科書 p190～p193 教科書 p196～p199 教科書 p202～p205	地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災	1 月 20 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理総合の 17～19
後期テスト				

NHK 高校講座地理総合のリンク



<https://edu.web.nhk/kokokoza/chirisougou/>

科目番号	0204	科目名	日本史探究			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3	必修修・ 選択		9	3	1	年間 2回
教科書		詳説日本史（山川出版社） 81 山川 日探 705				
副教材						
デジタル教材等		スタディサプリ				
学習目標		日本の歴史に関わる諸事象について多角的な視点から理解するとともに、史料に基づいて調査しまとめる技能等を身につけ、国際社会における日本国民としての自覚と他国の文化を尊重する態度を養う。				

学習方法

（１）単位を修得するために

毎回のレポートは、教科書や辞典などを様々なものを用いて調べて良いので、空欄の無いように仕上げて提出しましょう。スクーリングの要出席回数は３回ですが、分からない問題などがある際には遠慮なく質問をしてください。また、スタディサプリの「ベーシックレベル 日本史探究」の講座は授業形式になっているのでとても参考になると思います。活用してください。

テストが２回あります。基本的には教科書やレポートの内容から出題しますが、空欄の穴埋めだけでなく論述や正誤選択の問題もありますので、しっかり教科書の内容を理解しておきましょう。

（２）大学受験に向けて

共通テストでは、「日本史探究」「世界史探究」を受験する場合、「歴史総合」の範囲からも出題があります。「日本史探究」の場合は「歴史総合」の世界史的分野から、「日本史探究」だけでなく「歴史総合」の学習も進めておきましょう。「日本史探究」は、史料・写真・グラフなどを用いた問題が出題されますが、まず必要なのは確かな知識です。そして、知識は覚えておくことが必要です。その知識が無ければ、それを用いて思考を進めていくことはできません。

私立大学の試験も同じで、確かな知識が要求されます。まず、知識を得るために教科書をよく読み内容を理解することが大事です。

用語集や参考書などは自分に合うものを使っていいです。選び方などはスクーリングの際に質問してください。しっかり取り組めば、必ず合格点を取ることができます。頑張りましょう。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (スタディサプリ)
第 1 回	pp. 6 - 36 1 - 1. 文化の始まり 1 - 2. 農耕社会の成立 2 - 1. 古墳文化の展開 2 - 2. 飛鳥の朝廷	第 1 章・第 2 章	4 月 17 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 1 講・第 2 講
第 2 回	pp. 37 - 74 3 - 1. 律令国家への道 3 - 2. 平城京の時代 3 - 3. 律令国家の文化 3 - 4. 律令国家の変容 4 - 1. 摂関政治 4 - 2. 国風文化 4 - 3. 地方政治の展開と武士	第 3 章・第 4 章	5 月 18 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 3 講～第 5 講
第 3 回	pp. 75 - 109 5 - 1. 院政の始まり 5 - 2. 院政と平氏政権 6 - 1. 鎌倉幕府の成立 6 - 2. 武士の社会 6 - 3. モンゴル襲来と幕府の衰退 6 - 4. 鎌倉文化	第 5 章・第 6 章	6 月 12 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 6 講・第 7 講
第 4 回	pp. 110 - 146 7 - 1. 室町幕府の成立 7 - 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 7 - 3. 室町文化 7 - 4. 戦国大名の登場 8 - 1. 織豊政権 8 - 2. 桃山文化	第 7 章・第 8 章	6 月 26 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 8 講～第 10 講
第 5 回	pp. 154 - 191 9 - 1. 幕藩体制の成立 9 - 2. 幕藩社会の構造 9 - 3. 幕政の安定 9 - 4. 経済の発展 9 - 5. 元禄文化	第 9 章	9 月 18 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 11 講・第 12 講
前期テスト：第 1 回～第 5 回の範囲				
第 6 回	pp. 192 - 231 10 - 1. 幕政の改革 10 - 2. 宝暦・天明期の文化 10 - 3. 幕府の衰退と近代への道 10 - 4. 化政文化 11 - 1. 開国と幕末の動乱	第 10 章・第 11 章	10 月 23 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 13 講～第 15 講

	11 - 2. 幕府の滅亡と新政府の発足			
第 7 回	pp. 236 - 278 12 - 1. 明治維新と富国強兵 12 - 2. 立憲国家の成立 13 - 1. 日清・日露戦争と国際関係 13 - 2. 第一次世界大戦と日本 13 - 3. ワシントン体制	第 12 章・第 13 章	11 月 27 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 16 講・第 17 講
第 8 回	pp. 279 - 324 14 - 1. 近代産業の発展 14 - 2. 近代文化の発達 14 - 3. 市民生活の変容と大衆文化 15 - 1. 恐慌の時代 15 - 2. 軍部の台頭 15 - 3. 第二次世界大戦	第 14 章・第 15 章	12 月 18 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 18 講・第 19 講
第 9 回	pp. 325 - 364 16 - 1. 占領下の日本 16 - 2. 冷戦の開始と講和 17 - 1. 55 年体制 17 - 2. 経済復興から高度経済成長へ 18 - 1. 経済大国への道 18 - 2. 冷戦の終結と日本社会の変容	第 16 章～第 18 章	1 月 22 日 (金)	ベーシックレベル日本史探究 第 20 講～第 23 講
後期テスト：第 6 回～第 9 回の範囲				

科目番号	0205	科目名	世界史探究			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3	必修・選択		9回	3回	2回	年間2回
教科書		世界史探究(東京書籍)				
副教材		NEW・STAGE 世界史詳覧(浜島書店)				
デジタル教材等		NHK 高校講座：世界史探究 スタディーサプリなど				
学習目標		地球の誕生や人類の誕生を視野に入れつつ、古代文明の形成から現代に至る世界の歴史の展開を扱い、諸地域の歴史的特質と形成、諸地域の交流・再編、諸地域の統合・変容という大きな枠組みを基に、世界の歴史を大きく捉える。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

1. まずは教科書をしっかり読み込み、レポート(MetaMoji)を進めましょう。副教材や動画(NHK 高校講座：世界史探究)やスタサプなどを活用して、理解を深めましょう。勉強を進める中で、必ず各時代の地図に着目し、場所(地形・国や地域名・都市名)を確認して歴史の流れや舞台を整理しましょう。
2. スクーリングに出席しましょう。世界史はすべての国(または地域)の歴史が同時進行で動いています。理解しにくい歴史の流れや歴史的事象の背景を先生に質問して、知識と理解を深めましょう。
3. 定期テストに向けて、取り組んだレポートを見返し、基本的用語は何度も繰り返し覚えましょう。またテスト範囲の年表(各時代や地域別)などを作成し、歴史の流れをまとめてみることも勧めます。最初にも触れましたが、世界史の学習には世界の地図が頭に入っていることが大前提です。学習を進める時はその範囲の地図を必ず見て、どこで起こっている出来事なのかを確認して、歴史的事象と場所を関連付けて理解を図ってください。

(2) 大学受験に向けて

大学への進学を考えている人は、入試に向けて確かな学力を身につける必要があります。基本的には教科書で対応できますが、実際の模試や入試では、会話文・史料・グラフ・地図・写真(建築物や芸術作品など)といった多くの資料が出題されます。また多くの国や地域、時代をまたいだもの、“人”や“モノ”にスポットに当てたテーマ史も多く出題されます。よって、基本的用語を理解した上で、多くの問題や資料に日々触れておく必要があります。入試に向けての学習法については、担当の先生に気軽に相談してみてください。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (前後の入れ替えあり)
第1回	序説 世界史へのまなざし 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	地球と人類の誕生、古代オリエントとエーゲ海地域、南アジアの古代文明、古代ギリシアとヘレニズム世界、ローマ帝国と地中海世界	4 / 17 (金)	(NHK 高校講座 2024) 1 世界史へのまなざし ～ 5 古代の東南アジア 該当するスタサプ
第2回	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ	イスラーム世界の成立、インド世界の形成、海の道の形成と東南アジア、古代帝国の誕生、隋唐帝国と東アジア、草原地帯のトルコ化とイスラーム化	5 / 8 (金)	(NHK 高校講座 2024) 6 古代の中国と中央ユーラシア～ 8 西アジアのイスラーム政権 該当するスタサプ
第3回	第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	イスラーム世界の発展と文化、中世ヨーロッパ社会の展開・成熟・文化・再編、ルネサンス、唐崩壊後の東アジア、モンゴル帝国と元の成立	6 / 12 (金)	(NHK 高校講座 2024) 9 東ヨーロッパの成立～ 11 宋とモンゴル帝国 該当するスタサプ
第4回	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄	イスラームのインドとインド洋海域への浸透、アジア交易圏の再編と活況、明と日本・朝鮮の動向、一体化に向かう世界、中央アジアと西アジアの繁栄、清と東アジア	6 / 26 (金)	(NHK 高校講座 2024) 12 大交易の時代～ 16 ルネサンスと宗教改革 該当するスタサプ
第5回	第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 第14章 国民国家と近代社会の形成	主権国家群の形成と宗教改革、オランダの繁栄と英仏の国家形成、啓蒙専制国家の発展、産業革命と工業化、フランス革命とウィーン体制、自由主義の台頭と新しい革命の波、19世紀後半のヨーロッパ諸国、南北アメリカの発展	9 / 18 (金)	(NHK 高校講座 2024) 17 主権国家体制の形成～ 23 アメリカ合衆国の発展 該当するスタサプ
前期テスト				

第 6 回	第 15 章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第 16 章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	西アジアの危機と改革のはじまり、南アジア・東南アジアの植民地化、清における開発の限界と二つのアヘン戦争、列強の覇権争い、南アジア・東南アジアの民族運動、清の体制転換と近代国家建設の模索	10 / 23 (金)	(NHK 高校講座 2024) 24 19 世紀の西・南・東南アジア諸地域～26 帝国主義と世界分割 該当するスタサブ
第 7 回	第 17 章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第 18 章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編、大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ、アジア・アフリカでの国家建設の模索、世界恐慌と政治・経済の変容、第二次世界大戦の開戦と展開、戦後秩序構想と冷戦の形成	11 / 27 (金)	(NHK 高校講座 2024) 27 第一次世界大戦とロシア革命～29 大恐慌と第二次世界大戦 該当するスタサブ
第 8 回	第 19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第 20 章 冷戦の世界化と国際制度	アジア・太平洋戦争と日本の敗戦、帝国の解体と分断国家の形成、アジア諸国の独立と脱植民地化、冷戦と政治・経済秩序、アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力	12 / 18 (金)	(NHK 高校講座 2024) 31 冷戦構造の成立と展開～34 パレスチナ問題と現代の中東 戦後以降の章は 該当するスタサブ
第 9 回	第 21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第 22 章 21 世紀の地球的課題と人類社会	アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容、冷戦の変容と世界の諸地域、冷戦の終結とその後の世界、アメリカ合衆国の復調とグローバル化、グローバル化にともなう世界の変容、地球的諸課題	1 / 22 (金)	(NHK 高校講座 2024) 35 ヨーロッパの現代史と EU～39 中国の台頭と多極化 該当するスタサブ
単位認定考査				

科目番号	0202	科目名	地理探究			
単位数		区分	レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
3		選択	9	3	2	年間2回
教科書		新詳地理探究, 新詳高等地図 (帝国書院)				
副教材						
デジタル教材等		新詳地理探究演習ノート (デジタル準拠ノート) NHK テレビ高校講座 地理探究				
学習目標		1. 地理に関わる諸事象に関して, 世界の空間的な諸事象の規則性, 傾向性, 世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに, 調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2. 地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 位置や分布, 場所, 人間と自然環境との相互依存関係, 地域などに着目して, 多面的・多角的に考察したり, 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や, 効果的に説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。 3. 地理に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に, そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。				

学習方法

(1) 単位を修得するために

- 教科書を通読しましょう。教科書内の「Key Word」は, 基本的な地理用語です。これを確実に身につけるとともに, 「学習課題」を意識しながら理解を深めていきましょう。国や都市等の位置が分からない場合は, 地図帳で必ず確認しましょう。
- デジタル準拠ノートのレポートに取り組みましょう。分からないところは教科書を確認しながら進めていきます。
- スクーリングに出席しましょう。教科書で確認しても分からないところがあれば先生に質問し, 教科書内の「Key Word」や「学習課題」を確実に理解していきましょう。また, スクーリングの必要出席時数は年間で3回ですが, NHK 高校講座地理探究の動画を視聴すれば, スクーリングを1回免除できます。動画を視聴してスクーリングを免除したいときは, 視聴票を提出してください。
- 定期テストに向けて, レポートを再確認し, 実践問題に取り組みましょう。実践問題を繰り返し解いて出題形式に慣れるとともに, 基本的事項を確実に身に付けます。また, 教科書内の写真や図, グラフにも注目しましょう。特にグラフについては「なぜこのグラフの数値は高くなっているのか(もしくは低くなっているのか)」を, 理由を含めて理解していきましょう。

(2) 大学受験に向けて

国公立理系大学を目指すのであれば, 共通テストの「地理総合, 地理探究」を選択する生徒が多いと思います。「地理総合」において身につけた, 地理的なものの見方・考え方を発展させたものが「地理探究」です。学習目標に到達した上で, 共通テストの過去問に取り組み, 「知識の習得→問題を解いて応用力を身につける」というサイクルを繰り返していきましょう。また, 必要に応じて共通テスト演習を行う受験対策指導(希望制)を受講してください。

レポートの内容

レポート (締切日)	教科書	学習内容	スクーリング	デジタル教材 (NHK 高校講座地理探究)
第 1 回 (5/11)	教科書 p 6 ~p30	地形	4 月 15 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 1~3
第 2 回 (6/8)	教科書 p32~p59	気候	5 月 20 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 4 と 5
第 3 回 (6/22)	教科書 p62~p66	日本の自然環境	6 月 10 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 6 と 7
第 4 回 (7/13)	教科書 p80~p97	農林水産業	7 月 15 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 9 と 10
第 5 回 (9/1)	教科書 p104~p115 教科書 p122~p137	エネルギー・鉱産資源 工業	10 月 7 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 11~13
前期テスト				
第 6 回 (10/20)	教科書 p146~p151 教科書 p154~p157 教科書 p160~p165	交通・通信 観光 貿易	10 月 21 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 14~17
第 7 回 (11/16)	教科書 p166~p169 教科書 p170~p176	人口 人口問題	11 月 18 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 19 と 20
第 8 回 (12/7)	教科書 p178~p187 教科書 p188~p194	村落と都市 都市・居住問題	12 月 16 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 21 と 22
第 9 回 (1/12)	教科書 p198~p201 教科書 p202~p210	生活文化 民族・宗教	1 月 13 日	デジタル準拠ノート NHK 高校講座地理探究の 24~26
後期テスト				

NHK 高校講座地理探究のリンク

<https://edu.web.nhk/kokokoza/2d-code/index.html?series=chiri-tang>



科目番号	0301	科目名	公共			
単位数	区分		レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2	必修		6	2	1	年間 2 回
教科書		公共（東京書籍）				
副教材		なし				
デジタル教材等		東京書籍教科書準拠教材				
学習目標		・現代の日本や世界の諸課題について知り、その解決や選択・判断に必要な考え方や理論などを理解する。 ・現代の日本や世界の諸課題の解決に向けて、その解決や選択・判断に必要な考え方や理論、事実、さまざまな立場からの考え方を踏まえて思考し、判断できるようになる。 ・よりよい社会の実現のために、学んだことを活用しながら、自分自身の選択基準や判断基準、人生観や価値観を形成する。 ↓ ・グローバル化の進む世の中において、広い視野に立って自ら考え、国家や社会に参画するための力を、現代の諸課題を追求したり、解決したりする活動を通して身につけていく。				

学習方法

（１）単位を修得するために

（１）単位を修得するために

1. 東京書籍準拠教材を視聴し、レポートに取り組みましょう。

→

2. レポート内の自分の意見を記入する箇所は、中学校までの間に学習したこと、東京書籍準拠教材を視聴して学んだこと、自分の意見や知っていることをふまえて、考えて文章を書くようにしましょう。

3. スクーリングに出席しましょう。わからないことがあれば先生に質問してください。また、レポート内で取り上げる現代の諸課題について意見や考えを伝えましょう。

4. 定期テストに向けて、レポートに取り組むだけでなく、ニュースや新聞をみることで、世の中で起きていることや、いろいろな立場の人の考え方について知っておきましょう。

（２）大学受験に向けて

・現代の諸課題について、グラフやデータを分析したり、資料情報を読み、理解することで学び、それらを活用して自分自身の意見を持ち、表現する力を身につけていきましょう。

レポートの内容

レポート 【提出日】	教科書	学習内容	スクー リング	デジタル教材 (東京書籍教科書準拠教材)
第 1 回 【5/18 締切】	第 1 部 「公共」のとびら	第 1 章～第 3 章 公共的な空間をつくる私たち ～ 公共的な空間における基本的原理	5/7	東京書籍 教科書準拠教材 第 1 章～第 3 章 公共的な空間をつくる私 たち ～ 公共的な空間における基本 的原理
第 2 回 【6/22 締切】	第 2 部 自立した主体として社 会に参画する私たち	第 1 章 民主政治と私たち	6/11	東京書籍 教科書準拠教材 第 1 章 民主政治と私たち
第 3 回 【8/24 締切】	第 2 部 自立した主体として社 会に参画する私たち	第 2 章 法の働きと私たち	7/16	東京書籍 教科書準拠教材 第 2 章 法の働きと私たち
前期テスト				
第 4 回 【11/2 締切】	第 2 部 自立した主体として社 会に参画する私たち	第 3 章 経済社会で生きる私たち	10/22	東京書籍 教科書準拠教材 第 3 章 経済社会で生きる私 たち
第 5 回 【11/30 締切】	第 2 部 自立した主体として社 会に参画する私たち	第 4 章～第 5 章 私たちの職業生活 ～ 国際社会のなかで生きる私たち	11/26	東京書籍 教科書準拠教材 第 4 章～第 5 章 私たちの職業生活 ～ 国際社会のなかで生きる私 たち
第 6 回 【1/18 締切】	第 3 部 持続可能な社会づくりに参画するために	すべて	1/21	東京書籍 教科書準拠教材 すべて
単位認定考査				

科目番号	0302	科目名	政治経済			
単位数		区分	レポート回数	必要出席時数	視聴票免除時数	テスト
2		選択	6	2	1	年間 2 回
教科書	政治・経済（東京書籍）					
副教材	なし					
デジタル教材等	東京書籍教科書準拠教材					
学習目標	・ 社会に関わる現実社会の諸課題について知り、その解決や選択・判断に必要な考え方や理論などを理解する。 ・ 現代社会に見られる複雑な課題を把握し、説明できるようになるとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力、構想したことの妥当性や効果、実現可能性を指標にして考察する中で、社会参加に向かう力を養う。 ・ よりよい社会の実現のために、公共で学んだことを活用しながら、積極的に役割を果たそうとする自覚を深める。 ・ 大学受験に向けて必要な知識・技能や思考力や表現力などを学習を通して身につける。 ↓ ・ 社会で判断を迫られるであろう、正解が一つに定まらない現実社会に見られる複雑な課題を把握し、解決に向けて追求や構想をしていくなかで、社会へ向かうための力を身につけていく。					

学習方法

（１）単位を修得するために

１．東京書籍準拠教材を視聴し、レポートに取り組みましょう。

→

２．スクーリングに出席しましょう。わからないことがあれば先生に質問してください。

３．定期テストに向けて、レポートに取り組むだけでなく、ニュースや新聞をみることで、世の中で起きていることを知り、直面する課題の解決方法を考えましょう。

（２）大学受験に向けて

・ 現代社会の複雑な諸課題について、グラフやデータを分析したり、資料情報を読み、理解することで学び、それらを活用して諸課題の解決の手段を考察しよう。

・ 大学入試を見据えて、受験を検討している大学の過去問題、共通テストの過去問題などで演習を行いましょう。

レポートの内容

レポート	教科書	学習内容	スクー リング	デジタル教材 (東京書籍教科書準拠教材)
第 1 回 【5/18 締切】	第 1 編 第 1 章 現代日本の政治	1 節～ 4 節 民主政治の基本原理 ～ 現代政治の特質と課題	4/22	東京書籍 教科書準拠教材 1 節 民主政治の基本原理 ～ 4 節 現代政治の特質と課 題
第 2 回 【6/22 締切】	第 1 編 第 2 章 現代日本の経済	1 節～ 4 節 現代の資本主義経済 ～ 福祉社会と日本経済の課題	6/2	東京書籍 教科書準拠教材 1 節 現代の資本主義経済 ～ 4 節 福祉社会と日本経済 の課題
第 3 回 【8/24 締切】	第 1 編 第 3 章 現代日本の諸課題	すべて	7/1	東京書籍 教科書準拠教材 すべて
前期テスト				
第 4 回 【10/26 締切】	第 2 編 第 1 章 現代の国際政治	1 節～ 2 節 国際政治のしくみ ～ 複雑化する国際政治と日本	9/16	東京書籍 教科書準拠教材 1 節 国際政治のしくみ ～ 2 節 複雑化する国際政治と 日本
第 5 回 【11/24 締切】	第 2 編 第 2 章 現代の国際経済	1 節～ 2 節 国民経済と国際経済 ～ 世界経済の現状と課題	10/28	東京書籍 教科書準拠教材 1 節 国民経済と国際経済 ～ 2 節 世界経済の現状と課題
第 6 回 【1/18 締切】	第 2 編 第 3 章 国際社会の諸課題	すべて	12/9	東京書籍 教科書準拠教材 すべて
単位認定考査				